

# Ueda

上田市民と行政をつなぐ、お役立ち情報紙

広報うえだ  
7月号  
2021 (令和3年)  
No.341

特集

## 私たちが 地域おこし 協力隊



実は上田は農業に最適!?



稲倉の棚田の魅力を発信!



自然と街の調和がバイネ!



行動力で上田推しまくり!



上田の未来は「食」にある!



共に生きるライフデザインを!

令和3年6月市議会定例会

市長提案説明 ..... 6

スマホで便利に  
別所線でQRコード決済 ..... 8

64歳以下のワクチン接種、子育て世帯生活支援特別給付金  
新型コロナワクチン お知らせ第4弾... 34

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントや  
会議などの内容が変更になる場合があります。

ホームページなどをご確認いただくか、  
各担当までお問い合わせください。



# 私たちが地域おこし協力隊

☎ 移住交流推進課 71・6734

「都会を離れ田舎で生活したい。」  
「豊かな自然に囲まれて暮らしたい。」  
「人とのつながりを大切に生きていきたい。」

都会に住む人たちの「地方」へのニーズの高まりを受け、本市で地域おこし協力隊制度がスタートしたのは、平成27年度。

知っているようで知らない、地域おこし協力隊。どんな人がいて、どんな活動をしているのでしょうか。

地域活性化のため、また、地域への定住・定着を見据え、日々熱意をもって活動している隊員を紹介します。



**地域おこし協力隊制度とは？**  
各自自治体が都市地域から人材を受け入れ、新しい視点による発想や柔軟な活動により、地域に活力を与えるとともに、定住・定着に繋げることを目的とした制度です。最大3年の任期の中で地域ブランドや地場産品の開発や住民の生活支援、農林水産業への従事といった地域協力活動を行いながら任期終了後も定住・定着できるよう取り組みます。  
現在、本市では6名の隊員が活動中です。皆様の温かい応援をお願いします。

## どんな人が協力隊員になれるの？

3大都市圏をはじめとする都市地域に居住している方で、任期開始までに上田市内に住民票を異動する必要があるあります。また、地域の活性化に意欲的で農業や田舎暮らしに興味があること、パソコンの基本操作ができること、普通自動車運転免許を持っていることなどいくつかの条件を満たす方が応募できます。



市ホームページ



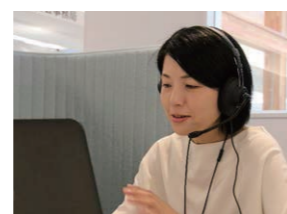
## 「共に生きる」を大切に

以前から、自然豊かで景色が美しい長野県への移住に憧れがありました。中でも上田市は、文化、歴史、気候など惹かれるところが多く、移住したい街の第一候補でした。

児童福祉関係の仕事経験から、「家族」について考えることが多く、「結婚」についてもさまざまな視点から向き合い考えを深める中で、協力隊を募集していることを知り、運命を感じ応募しました。本人の望む結婚のあり方を尊重し、「共に生きる」ということを大切にしながら未婚化・晩婚化解消のための活動を行っています。

また、LGBTQ(セクシャルマイノリティ)の方々の思いにも心を寄せていきたいです。

現在は、コロナ禍の中でも婚活・結婚への気持ちを維持できるように、オンライン婚活交流会や感染症対策をしたイベント企画に力を入れています。今後は、高校生や大学生を対象としたライフデザインについて意見交換できる場や、円滑なコミュニケーションを取ることで結婚への意識の醸成につながるような会の開催を検討しています。



オンライン婚活交流会も開催



Facebook うえだ縁づくりナビ

## 上田の食の可能性にワクワク！

自然と動物が大好きで、長野県を旅してその自然に魅了されました。また、発酵食文化に興味を持ち、上田で暮らしてみたいと協力隊員に応募しました。

パティシエや栄養士などの食の経験を活かし、塩田産大豆を使ったソイフード(大豆食)や捨てられることも多い柿など地域の農産物を使ったレシピ開発をしています。市内高校生の調理指導や、大学生と一緒に料理番組に出演もしています。

「買う」しか選択肢のなかったものを「作り出す」文化に魅力を感じます。地域の方が協力して作業したり、お裾分け文化も良いなと思います。また、上田から全国に広まったこっば人形など農産美術は、山本県の思想と共に上田の財産だと思っています。活動を通じて、振興や保存のお手伝いをしたいと思っています。

私の任期は10月まで。これから、特産品の完成、塩田の寺子屋講座、こっば人形の振興、環境を意識したソイフードの普及活動を軸に、終了後に向けての準備をしていきます。任期終了後は、これらの活動に加え地元食材を使った動物のための手作りフードやケーキ作りなどにも関わっていききたいと思っています。



Soyでおつまみセット



大豆フルーツどら焼き、キャロットケーキ



長野大学お菓子教室



ソイフード研究家・パティシエ  
かとう まき  
+ 加藤 万紀 隊員  
平成30年11月1日 着任

## これまでの活動で印象的だったこと

「塩田の寺子屋」で、地元の達人に教えてもらいながらこっば人形を作る講座を開催できたこと。地元の皆さんと楽しみ、人の交流が生まれ、開発した大豆料理を召し上がっていただくことができました。協力隊としてやりがいを感じる嬉しい機会でした。



婚活・結婚支援担当  
まるやま かなえ  
+ 丸山 華苗 隊員  
令和2年10月1日 着任

## 上田市のみなさんに一言！

上田市での暮らしを心から楽しんでいます。山々の景色、身近な自然、泉質豊かな温泉地、発酵食をはじめとした食文化、暮らしやすさなどいいところがたくさんで、上田に来ることができて本当に良かったです。退任後も上田市に根付いて暮らせるように、いろいろな視点を持って行動していきたいです。人や地域の魅力がたくさんある信州上田、大好きです！



営業畑30年の経験を実際の畑で活かす

なかの こういち  
令和3年 4月1日 着任  
+ **仲野 孝一** 隊員

**上田市のみなさんに一言！**

上田市や真田は、地名そのもので全国区レベルのブランド力があります。ぜひ、このことを誇りに思い、地域を活性化させる力にしていってほしいと思います。

**ブルーベリーの つみとり体験！**

遊休農地で育てたブルーベリーのつみとり体験を行っています！  
詳細は17ページへ



順調に育っているブルーベリー (6月上旬)



真田中学校での講演

**マーケティング・営業のスキルを活かして農業活性に取り組む**

医用画像診断装置メーカーでマーケティング・営業職として30年勤務しました。次の30年は農業をやると決めており、2020年は有機栽培農家で研修をしていました。研修の中で、マーケティングや営業のスキルが農業活性にも活かせるのではと考えていたところだったので、地域おこし協力隊の募集を知って応募しない理由がありませんでした。

今後、真田地域の遊休荒廃農地の削減と農業活性化のために、特産果樹(ブルーベリー)や蕎麦による地域活性化、新規就農者の勧誘、そして農作物がもっと売れる仕組み作りをやりたいと考えています。活性化とはシンプルに「ものが作られ、買われる行為が活発になること」と考えています。このようにマーケティングから農業を考える場として、真田中学校で講演を行ったりもしています。



「棚田ブランド」を全国に発信!

たまさき しゅうへい  
令和2年 10月1日 着任  
+ **玉崎 修平** 隊員

**これまでの活動で印象的だったこと**

着任早々のコロナ禍で、東京から来た人間は敬遠されるだろうと覚悟していましたが、そんな中でも地元のじい様に焼き鳥屋へ連れて行ってもらいました。体質的にそれほど飲めないタイプですが、次々に注がれる酒と会話は心地よく、ここでこれから暮らしていくんだという喜びが沸き立ちました。

**稲倉の棚田を軸に、食べていける農業を目指す**

稲倉の棚田には、2008年から棚田オーナーとして通っており、それをきっかけに都内で「認定NPO法人棚田ネットワーク」の企画戦略部として活動していました。棚田CAMPを始め、外から大好きな棚田に関わるのでは飽き足らず、もっと地元に入り込みたいと考えて協力隊に応募しました。

現在は協力隊として、稲倉の棚田を軸とした里山全体の地域活性化に向けて、棚田の観光資源的価値を最大限に高め、多元的活動から食べていける農業を実現するために活動中です。

コロナ禍の自粛要請などで、農業体験などのイベントが主となる棚田は、現在、活動自体が非常に厳しい状況にあります。これからの地元の方々との交流や関係性を深め、都会人の目線を感じた上田の魅力発信し、地元を巻き込んで盛り上げていきたいと考えています。

**Campin' 稲倉の棚田**

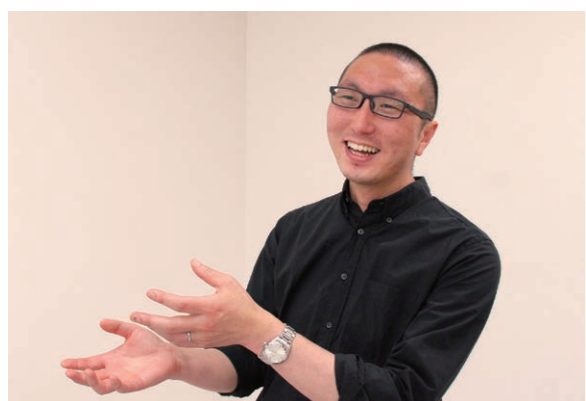
棚田の素晴らしい風景と満点の星空の下でキャンプしてみませんか？



貸切サイト (ウッドデッキ) テント泊 サイト(4張)

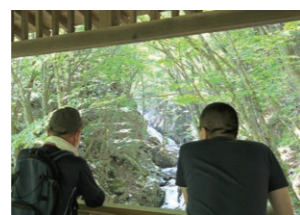


5月23日(日)に行われた「お田植祭り」では保全会の一員として活躍



建築学の知識と新しい視点で!

ぬまい たいし  
令和3年 4月1日 着任  
+ **沼井 大志** 隊員



**新しい視点から、地域資源の新たな活用方法を見つけ出す**

大学、大学院で建築学を専攻し、大手メーカーに入社後はファシリティマネージャーとして8年勤務しました。

上田市を訪れた際に、市街地の街並みと山々に囲まれた田園風景に魅力を感じて地域おこし協力隊に応募しました。地域にある空き家や既存施設を活かすべく、日々活動しています。それ以外にも、経済的に持続可能な事業を興すため、まだ気づかれていない地域資源を探し、活用方法を検討しています。

現在は、武石地域の果栗溪谷などを誘客につながる観光資源にするため、周辺の視察や環境の整備を行っています。

**上田市のみなさんに一言！**

武石地域はもちろんのこと、上田市全域で活用できていない資源を探し、活用方法を検討していきます。空き家や商品にできない野菜など、探せば他にも色々なものがあると思います。私にとってはそれらひとつひとつが地域課題です。すでに取り組まれている方も大勢いるかと思いますが、上田の外からやってきた私の、新たな視点による発見もあるかもしれません。ぜひ、気軽に声をかけてください!



地域資源開発に向けた視察



女性の視点から地域の発展を考える

おばた かよこ  
令和3年 1月1日 着任  
+ **小幡 香代子** 隊員

**上田市のみなさんに一言！**

今はコロナ禍でイベントの中止が相次ぎ非常に残念です。しかし、その中でも移住してみて気付いたこと、びっくりしたことなどを見つけ出して市外の方にもおもしろい発信ができればいいなと思います。地域の皆さんとの会話の中から、ピカッ!と閃きがあると最高ですね。まだまだ半人前です。どうぞよろしくお願いたします。

**さまざまな活動を通じ、これから取り組む地域課題を明確に**

定年後の将来、地方移住して家庭菜園ができればいいなと思いつきながら、移住先の情報収集をしていた時に、協力隊の公募を知りました。大河ドラマや映画で知名度が高く人気の地方都市、上田。ご縁があれば、新しい道が開けるチャンス。体力があるうちに行動してみよう!と応募しました。

着任から早半年。地域の方に声を掛けていただき、励まされながら活動してきました。風土・生活・伝統・文化など、まだまだ学ぶことだらけ。それらを学び吸収したうえで、自分に何ができるのか、何をしたいのか考え、方向を鮮明にして活動していきたいです。

協力隊として、地域課題を明確にするため、農家のお手伝いや松くい虫の駆除、「阿鳥川コスモスの会」と浦里小学校の3年生と一緒にコスモスの苗の植え込みを行うなど、地域の皆さんと関わるさまざまな活動を行っています。



松くい虫の駆除



ささらの湯 直売所のお手伝い